ことしの10大ニュース

ことしの、市の十大ニュースをお知らせします。

みなさんの十大ニュースはどんなことでしたでしょうか

○春の強風で六億円の農業被害

三月三十日夜半から吹きあれた強風は、三十一日の午前二時に瞬間最大風速三十四メートルを記録しました。

このため、市内では、農作物や農業施設を中心に大きな被害がでました。農政課の調査によると、農業被害の総額は、約六億円と推計されました。農業以外でも、県立豊栄高校の体育館の屋根（長尺鉄板）がはぎ取られるなど、各地で損害を受けました。（三月）

○下土地亀小と早通小が統合し、早通南小が開校

長い歴史を誇ってきた下土地亀小学校と早通小学校が統合し、四月から早通南小学校が開校しました。**（写真）**

開校した早通南小学校は、児童数一千百二十五人、学級数三十の、市内で一番大きな学校です。（四月）

○じん芥処理センター建設地きまる

拡張計画を進めていたじん芥処理センター（仮称環境センター）が、建設されることになりました。

新センターは、木崎地区の内島見と浦ノ入の中間地点（新発田川沿い）に建設されることになり、すでに工事が始まっています。総事業費約十億円で、一日十六時間稼働八十トンのごみを処理する計画です。五十六年一月以降稼働開始の予定です。（五月）

○三十四年ぶりに疎開児童来市

戦争中、東京から葛塚へ集団疎開してきた、当時の先生や学童十八人が、三十四年ぶりに市を訪れ、旧友と対面しました。**（写真）**

この人たちは、東京都深川区（現在江東区）元加賀国民学校の人たちで、学び舎の葛塚小学校や、宿舎の北寺や中常楼を訪れ、感慨にひたっていました。（五月）

○町浦川ポンプ場完成

水害で苦しめられてきた町浦川に、下水路排水ポンプ場が完成しました。

このポンプ場は、葛塚市街地の町浦川流域水害対策として、完成が急がれていたものです。建設工事費は、三千四百六十五万円で、ポンプの口径六百㎜メートル、排水能力は一分間に五十トンです。（六月）

○ポスター掲示場の公営化を実施

市議会で、市長と市議会議員選挙ポスターの掲示場を公営化することを議決し、七月の市議会議員選挙から実施されました。

この選挙で、三十人の新議員が誕生しました。（七月）

○鳥屋遺跡発掘調査行われる

木崎地区の鳥屋遺跡の発掘調査が、寺村和洋女子大教授を団長とし実施されました。

今回の発掘で、土壇約百三十基が検出され、装飾品や墓の形跡などが発見されました（七月）**（写真）**

○県と市の大規模防災訓練

九月十二日に、県と市共催の新潟県豊栄地区総合防災訓練が、市街地を中心にして実施されました。**（写真右下）**

この訓練は、災害対策基本法によるもので、県知事や市長をはじめ、約一万五千人が参加した大規模なものです。

航空機やヘリコプターなども出動し、実戦さながらの訓練でした。（九月）

○葛塚児童館がオープン

十月一日、建設中だった葛塚東児童館が、法花鳥屋地内に開館しました。**（写真左）**

この児童館は、財団法人中央競馬社会福祉財団からの寄付など、約四千五百万円の経費で完成したもので、一般の児童に開放されるものです。（十月）

○母子家庭等医療費無料化を実施

母子家庭医療費扶助条例が制定され、十月一日から実施されました。

この医療費無料化は、市が母子家庭と、これに準ずる家庭の保健医療費の自己負担分全額を、後で支給するものです。（十月）

このほかのできごと

○福島潟環境保全対策推進協議会が発足（二月）

○市長三選される（四月）

○中日友好の船団員来市（五月）

○塩ポクサビ現象対策きまる

防止ゲート完成（五月）

○助役、収入役きまる（十月）

転作は一〇〇・一六ヘクタール

市の五十四年度水田利用再編成の実績が、まとまりました。

転作目標面積一九九・二ヘクタールに対して、実施面積は二百九九・六八ヘクタールで、目標達成率は一〇〇・一六パーセントでした。また、転作配分農家（二〇㌃以上の耕作農家）は、二千三百七十四戸でしたが、転作実施農家は二千三十九戸で、実施率は、八五・九パーセントでした。

なお昨年は、目標面積一八三ヘクタールに対して実施面積は二七七・二ヘクタールで、達成率は九七・九五パーセントでした。割当農家二千五百三十戸に対して、転作実施農家は一千八百三戸で、実施率は七一・一九パーセントでした。

このような農家の協力に対する特別交付金は、三千万円ほどで、協力農家へ限度数量一俵につき百円、計一千八百九十八万七千円を交付し、残りは農協と農家組合に交付されます。

なお、今年度の転作の特徴は、大豆、小麦への転作が減って、青刈りが増加したことでした。

交通指導隊員を任命

市交通指導隊員の任期が満了し、十二月三日に新隊員の任命式が行われました。

隊員は、女性隊員二人と新隊員二人を含む二十二人です。席上結成満十周年を記念し結成当時からの指導員四人に表彰状が贈られました。

交通安全指導員

（十二月一日付）

石川佐市（嘉山一）＝隊長
長谷川正司（内沼）古川貴久（常盤町）野村一之（高森）
＝以上副隊長、渡辺暢（城山）宮尾功（長場）石川稔（大瀬柳）橋本忠吉（内島見）
＝以上班長、和田源一郎（早通）水戸孝一（下黒山）
佐藤一（下大谷内）斎藤忠夫（嘉山六）昆野三郎（上黒山一）加藤弘之（木崎）橋本久雄（兄弟堀）渡辺一司（太子堂）青木敏明（尾山）雪井真人（正尺）大野稚以知（中大口）赤塚行雄（下土地亀）五十嵐智枝子（栄町）藤田栄子（木崎）

▽豊栄地区交通安全協会長から表彰状が贈られた者

石川佐市（嘉山一）＝隊長
長谷川正司（内沼）野村一之（高森）古川貴久（常盤町）
＝以上副隊長

▽豊栄市長から感謝状が贈られた者（退任者）

高橋忠太郎（木崎）山田純一（太子堂）石井健一（嘉山五）坂井栄吉（川西二）

交通安全のためにたのみます――隊員の任命式

校章めぐり(10)

豊栄南小学校

豊栄南小学校（新野喜美夫校長、児童数百九十九人、職員十五人）

校章の由来

昭和四十七年度に、長場・岡新田の両小学校が統合し、新生豊栄南小学校が創立されると、市内の小の字は、支え合う子どもを表した。

地域に根をすうした、たくましい子、毎年飛来する白鳥のような、新雪のような、気高く清らかな心で成長することを願ったものである。（新野校長記）

国保事業功労で田中さん大臣表彰

田中勝さん（上土地亀、七四歳）は、このほど国民健康保険事業功労で、厚生大臣表彰を受賞しました。

田中さんは、長浦地区の開業医師として、地域医療の発展に尽力する傍ら、昭和十八年から市国民健康保険運営協議会委員を三十六年間も努めています。このたび、この功績が認められたもので、十一月十六日、東京の厚生省で、全国の被表彰者百四十三人を代表し、野呂厚生大臣から表彰されました。

横山さん公衆衛生功労で表彰

横山和平さん（下大口、七一歳）は、十一月二十八日、長岡市で開かれた県保健衛生大会の席上、公衆衛生事業功労者として表彰されました。

横山さんは、市住みよい郷土建設協会副会長兼生活環境浄化部会長ですが、十五年間も、きれいにする運動や河川にゴミをすてない運動等、環境衛生行政に協力してきたものです。

人権擁護委員（任期三年）

中川三郎（早通）七月一日付
田辺傳一（下土地亀）
阿部ヨイ（相生町）十一月一日付

ありがとうございました

曽我幸夫さん（長場）は、社会福祉基金として三〇、〇〇〇円

市連合婦人会（会長渡辺邸）は、市民体育館建設資金募金映写会の収益金の一部として一三五、二〇〇円